

学校運営協議会(定時制部会)議事録

校名	大阪府立大手前高等学校
准校長名	杉田 真規子

開催日時	令和4年2月16日(水)
開催場所	大阪府立大手前高等学校(書面開催)
出席者(委員)	前 比呂子 原田 幸恵 浅田 和義 堀 剛士 平田 圭介
出席者(学校)	杉田 真規子 山本 勲
傍聴者	
協議資料	令和3年度 学校経営計画及び学校評価(案), 令和4年度 学校経営計画及び学校評価(案), 学校教育自己診断(生徒・保護者・教職員), 授業アンケート評価の経年変化(H28~R3)
備考	なし

議題等(次第順)

- 1 令和3年度 学校評価(案)について
- 2 令和4年度 学校経営計画(案)について
- 3 学校教育自己診断まとめについて
- 4 授業アンケート評価の変化について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 1 令和3年度 学校評価(案)について【承認5 否認0】**
- 全体的に、学校評価に係る数値については全体の母数が小さいため少しづらの変動に一喜一憂することなく、長いスパンで校長先生が立てられた方針を見ていければよいと思います。ただ、顕著に好転していること、顕著に悪化してしまったことについては、まずは原因を明確にした上で、次に活かす、または改善策を講じることが必要かと思えます。(1(2)カ:図書館の活用促進、4(1)ア:将来の学校像について中・長期的なビジョンを持って検討などです)
- ・1(2)カ「授業で図書館を使用することで図書を活用する」について、「授業で図書館を活用する」という方法が貸出数の増加にはあまり有効でなかったということでしたら、「各教科による利活用を促す」というあまり変わらない方法を続けるだけでよいのかと少し思いました。
  - ・2(1)ウ「校内生徒支援委員会の機能をさらに充実させる」について、独自の「アセスメント・プランニングシート」の活用などを通してSSWとのケース会議に力を注いでおられるようすが伝わって来ました。せっかくの取組みですので、運営協議会の会議資料としてシートの様式だけでも委員に見せていただければOODAループのイメージができ、すぐれた取組みを協議会全体で共有することができたかと思えます。このことに限らず、実践例やデータを資料としてご提示いただくと運営協議会の議論の活性化につながるかと思えます。
  - ・3(2)「人権教育推進委員会の活性化と人権ホームルームの計画・実施」について、人権研修の実施回数も大事かとは思いますが、学校が今どういう課題意識をもって進めようとしているのかが明確になる機会ですので、ぜひとも内容(テーマだけでも)を書いていただければと思います。
  - ・4(1)ア「将来の学校像について中・長期的なビジョンを持って検討する」について、学校教育自己診断(教員)における組織体制や人事に関する自己評価の内、3つが顕著に好転していてよかったと思えました。どのような取組みによってそうなったのかについてですが、記載されている「主任を置く体制」が「有効に機能しているのかを企画調整員会で検討」されたということと関連があるということでしょうか?評価欄の「継続を決定した」とあるのは、「主任を置く体制」が有効に機能しているのかこの体制を継続するという理解でよろしいでしょうか。「毎年継続するのかを検討」するのでしょいか?また有効に機能していなければ廃止ですか?しかし、有効に機能していないということは、担任が大変になっているということなので、「主任を置く体制」に替わるものが必要になってくるのではないのでしょうか?私だけかもしれませんが、あまり理解できておりません。
  - ・4(1)オ「学校ホームページや学校案内パンフレットの有効活用」について、ブログによる発信が3倍になり、頑張っている大手前高校定時制の日々の姿がよく見えるようになりました。
- 2 令和4年度 学校経営計画(案)について【承認5 否認0】**
- 2 中期的目標「4 学校力の向上「みんなの大手前 みんなが大手前」
- ・(1)「働き方改革に係る取組みを活用し、組織力を高める教職員相互のスキルアップと外部機関との連携促進」について、「働き方改革」の文言が加わったことはよいと思えました。ただ、以下に示された具体的な項目が、タイトルに「働き方改革」の文言のない令和3年度と同じなので、具体的な方策として新たなものを入れていただければ本気度がより伝わりやすいと思えます。
  - ・(1)イ「落ち着いた教育環境の保持及び学校生活のマナーについて組織的な指導體制の構築」について、「R3:1件」の内容が気になる。
  - ・(2)「学習指導要領に基づく授業改善と評価の取組み」について、新たに加えられた目標かと思えます。いよいよ令和4年度より高等学校における新学習指導要領が年次進行で実施されます。今回の改訂の主軸は授業法の改革にあるので、鮮明に打ち出されたのは非常によかったと思えます。それだけにどこにポイントを置いた授業改善なのかを、新学習指導要領の趣旨にもとづきキーワードとして入れていただければ、教員もどのような授業をめざせばよいのかがわかります。それが共有できれば、研究授業も活性化するのではないのでしょうか。
- 3 学校教育自己診断まとめについて【承認5 否認0】**
- 基本的に少しの変化はあまり気にせず、顕著に好転しているものについては原因を明確にして次に活かす、低迷が続くものについては原因を分析して新たな方策を打ち出すことが肝要かと思えます。
- <学校経営に関するもの>25(教職員が意欲的に取り組める環境)、26(分掌・学年間の円滑な連携)、27(教職員間の意思疎通・意見交換)は顕著な好転ですが、令和2年度に特別な事情があったことも考えられます。32(図書館が生徒に活用)については明らかに低迷が続いている(先生方自身がそう思っている)項目なので、授業改善と連動させながら取り組んでいられる課題のひとつになるのではないかと思います。
- 4 授業アンケート評価の変化について【承認5 否認0】**
- コロナ下さまざまな苦勞をされたことと思います。経年変化の把握のためには、安易に項目を増やすべきではないのかも知れませんが、ひとり一端末時代を迎え、それに特化した質問項目が必要になってくるのではないかと思います。ご検討ください。
- また、1~9(全項目の平均)だけでなく、8・9(生徒の意識)の数値を別に出されています。これを重視されることについてはよいと思うのですが、1・2の生徒さんの取組み状況とともに挙げていただければ、更に実態が把握しやすくなるのではないかと思います。ご検討ください。
- 5 その他**
- 1年間ありがとうございました。授業を見学できて、とても良かったです(子ども達の日頃の様子が見れました)。
  - 全体的に一人ひとりの生徒の状況を把握し、ていねいに対応されている。
  - いつもありがとうございます。

次の会議日程

日時	令和4年7月1日(金)15:00~16:00(予定)
会場	大阪府立大手前高等学校 1階大会議室